

事務連絡
平成14年11月28日

各地方整備局等
計画担当課長
建築担当課長 あて

大臣官房官庁営繕部

営繕計画課 課長補佐 尾崎俊文
建築課 課長補佐 堀直志

吹き付けアスベストの劣化状況について(依頼)

標記については、昭和62年度および平成元年度に既存施設を対象として調査を実施し、その調査結果に基づき、平成元年度からの5カ年間で緊急性の高い施設についての整備を終了したところである。

また、これら以外の施設については、引き続き当該部位の劣化の進行状況に応じて所要の措置を講じることとしてきたところである。

この間、吹き付けアスベストを使用している施設が、改修工事や施設の統廃合等により減少したものの、未だ別添の多くの施設においては継続使用されていることが推量される。

このため、当初の調査から概ね15年余を経過した現在、これらの施設の吹き付けアスベストについて、劣化状況を把握するため、一齊調査することとしたので、下記により調査し、別添様式-1により報告されるよう依頼する。

記

- 1 調査対象施設： 別紙による
- 2 調査方法 : 官庁建物実態調査等の調査記録又は新たな目視調査
- 3 調査期限 : 平成15年2月28日(金)
- 4 提出先 : 大臣官房官庁営繕部建築課基準第二係

石黒 (ishiguro-m2t8@mlit.go.jp)

吹き付けアスペスト使用施設及びその劣化状況調査

様式二-1

番号 分類番号	用途別 建物コード	棟番号	管理省庁等	地方整備局等	施設名	棟名称	使用室名稱	建物状況			調査年次	調査年 (1)月 (2)月 (3)月 (4)月 (5)月	劣化状況の評価 特A C	備考
								地上階数	地下階数	延べ面積				
1	企入戸 ○○○○○○○○	○○省	○○	○○地方合同庁舎	○○	○○	○○	S	18	2	1977.03.01	2001.07.A	A	緊急
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														

劣化状況の評価の凡例

(1) 目視による吹き付けアスペスト層の劣化状況

- A:かなりの劣化が見られる
B:軽度の劣化が見られる
C:劣化無し

(2) 吹き付けアスペストが施工されている部屋の使用頻度

- A:専時使用されるが、多くの人が使用する
B:常時は使用されない(A, C以外)
C:ほとんど使用されない

(3) 使用部位の空気の流れ

- 特A:ダクトの一部にアスペスト又はアスベスト倉庫ロックガードが吹き付けられている
A:アスペスト又はアスベスト倉庫ロックガードを吹き付けられた部位をゆっくりとした空間の気流が通過している
C:上部以外

(4) 劣化の進行可能性

- A:アスペストに手などを触れることができるか、又は吹き付けアスペストが劣化しやすい場合
C:上部以外

(5) 測定結果(備考)

- A: 10 F/L程度以上
0.5~10 F/L程度
C: 0.5以下 F/L程度以下

総合評価の凡例

- | |
|-------------------------|
| 緊急: 特Aが1以上か、又はAが3以上ある場合 |
| 改修: Aが1又は2 |
| 軽易: 上記以外 |

吹き付けアスベスト使用施設

地方建設局名 :

N1	N2		施設名称	使用面積	備考
		合計			